

【医師用】

園児氏名		病名	
令和 年 月 日から、症状も			
回復し、集団生活にも支障がない状態になったので		年月日	令和 年 月 日
登園可能と判断致します。		医療機関名	
		医師名	印またはサイン

幼稚園は子ども達が長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行を出来るだけ防ぐことで、子ども達が一日快適に生活できるよう、下記感染症について登園許可書の提出をお願い致します。

感染力のある機関に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での幼稚園生活が可能な状態になってからの登園となるようにご配慮ください。

●医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹 (はしか)	発症1日前から、発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前24時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで、幼児は3日を経過するまで
風しん	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんがすべて消失してから
水痘 (水ぼうそう)	発しん出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腺腫が出現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜炎 (プール熱)	発熱、充血等が出現した数日間	主な症状が消え、2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は、5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間を空け連続2回の細菌検査（検便）によっていずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性角膜炎	ウイルスが呼吸器から1～1週間、便から数週間～数か月間排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで